

聞く力・話す力



人の話を聞くこと・自分の気持ちを話すことは 人間としてのコミュニケーションの方法です。現代社会は、言葉を交わさずにやりとりできることが多くなり 聞く力・話す力が弱体化していると言われています。だからこそ、幼児期に育んでおきたい力のひとつです。

聞く力ってどうすれば育つの？

子どもたちはまず、**自分の話を聞いてもらう**経験を繰り返すうちに 聞いてもらって嬉しい、ということを知り【相手の話を聞く】ことができるようになります。わたしたちが、子どもたちの話を聞く時に大切にしていることをご紹介します。

話を聞く時に大切にしていること

○目線を合わせ、目を見て会話する。

子どもと向き合い、目線を合わせて話を聞くことで 安心感が生まれます。

○目を見て話せない時は、後で聞く約束をする。

子どもが一方向的に話している時は、喋っているだけで会話は成立していません。

もし、その時 目線を合わせて話を聞けない時は、後でゆっくり聞く事を約束しています。そして、必ず話す時間を作るようにしています。

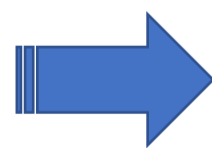
○子どもの気持ちに共感する。

痛くて泣いている時には、「痛かったんだね」友だちとケンカをして泣いている時には「悲しかったんだね」と、感情を言葉に置き換えることで、「こういう気持ちの時にはこう言えばいいんだ」と気持ちを言葉で表現することを学びます。

例・・・Aちゃんが休みの日、動物園に行ってきたことを話そうとしていました。

A「きのう、どうぶつえん行ってきた！」
保「そうなのね。たのしかった？」
A「うん」
保「ゾウやキリンはいた？」
A「うん」

※子どもの返答が「うん」のみで済んでしまいます。



意識して関わると・・・

A「きのう、どうぶつえん行ってきた！」
保「そうなのね。どうだった？」
A「楽しかった！」
保「どんな動物がいたの？」
A「ゾウとかキリンがいた！！」
保「楽しかったんだね。」

※子どもが具体的に話せるように、言葉を引き出しています。

心と心 行きかうコミュニケーション！！



子どもたちはたくさん話を聞いてもらった経験を通して 自尊心(自分が大切にされている心)が育ちます。日々の生活の中で ゆっくりと話を聞く時間を作るのは難しいですが、寝る前や 園からの帰り道など落ち着いた時にお子さんと話す時間をつくってみてくださいね。